

の出向者は、徳島運輸
所分會所屬とするのが
よいのではないかと、
徳島事業分會所屬の
組合員は現在5名であ
る。徳島管理駅分會と
統合すれば活動が活性
化されると考へるので、
分會の統合を提案する。

嶋田副委員長



要員に関する課題は、
電氣職場のみならず、
全ての職場におけるテ
マである。特に工務部
関係では、現在、新た
な支援策に伴う工事の
増によって作業が増え
ていると認識している。
工事増による社員の負
担が増えていることに
対するは、他区所から
の助勤等によつて対応
するといふものであつ
たが、要員を増やさな
いであらば、逆に工事
を減らすように会社に
求めていきたいと考へ
ている。

たにもかわらず、そ
のまま運輸の継続を指
示したものである。本
来、出発信号機ATS
直下が動作した場合、
退行信号に關係なく一
旦退行の現行を再確
認したうえで運輸を再
開するの規程上の取
扱ひであり、これは規
程違反である。

この間、国労四国と
はベクトル合わせをす
る方向で取り組んでき
た。しかし、国労四国
が現執行部になつてか
ら、昨年の新入社員
勧誘行動を実施するな
ど、ベクトル合わせに
対する温度が変わつて
きている。これらの行
動に対し、四国労組本
部は、ベクトル合わせに
相反する行為である
と見て、次の定期大会
で、国労四国の動きを
見極めて方針を提起し
たいと考へている。一
般レベルでは、一企業
一組合の看板を下ろし
てはどうか、という意
見がある。発言があつ
たが、国労は相手がせ
いで放つておかないか
といふのは、真意を教
えていただきたい。所
属分會の件や分會
の統廃合については、
關係する分會及び支
部で議論していただき
ただければ、本部の組
織だけなら、本部の組
織で決定すること
となる。

措置については今後
検討課題としたい。

浅岡書記長



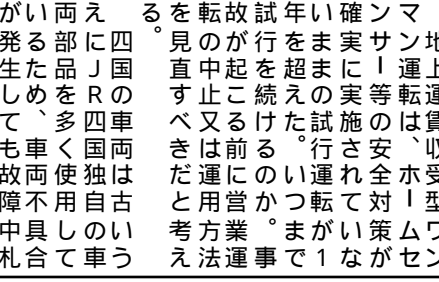
この間、国労四国と
はベクトル合わせをす
る方向で取り組んでき
た。しかし、国労四国
が現執行部になつてか
ら、昨年の新入社員
勧誘行動を実施するな
ど、ベクトル合わせに
対する温度が変わつて
きている。これらの行
動に対し、四国労組本
部は、ベクトル合わせに
相反する行為である
と見て、次の定期大会
で、国労四国の動きを
見極めて方針を提起し
たいと考へている。一
般レベルでは、一企業
一組合の看板を下ろし
てはどうか、という意
見がある。発言があつ
たが、国労は相手がせ
いで放つておかないか
といふのは、真意を教
えていただきたい。所
属分會の件や分會
の統廃合については、
關係する分會及び支
部で議論していただき
ただければ、本部の組
織だけなら、本部の組
織で決定すること
となる。

を提案する。
地上運賃収受型ワン
マン等々の安全対策が
確実に実施されていな
いままの試行運転が1
年を超えた。いつまで
試行を続けるのか。事
故の中止又は運用方法
を見直すべきだと考へ
る。



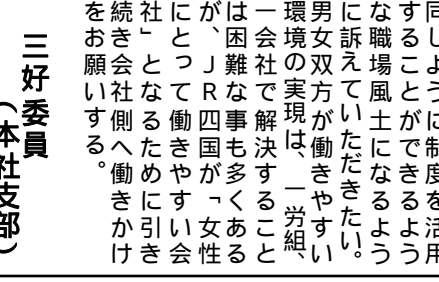
組により、浦和電車
区事件勝利等かなり前
進してきたが、民主化
当該三単組は、JR連
合所屬の組合員が減少
傾向にあるうえ、現在
の構成員はベテラン社
員が多い状況でもある
ため、危機感を持つ材
料もあり、北海道や貨
物において若手社員の
加入が続いている。今
後、北海道、東日本、
貨物において、いかに
若手社員の拡大を進め
るのか作戦を練つてい
る状況である。

あるが、社員組合と
同じように制度を活用
することができるよう
な職場風土になるよう
に訴えていた。また、
男女双方が働きやすい
環境の実現は、一労組
一会社で解決すること
は困難な事も多くある
が、JR四国が「女性
にとつて働きやすい会
社」となるために引き
続き会社側へ働きかけ
をお願いする。



女性が生産を通じて
働き続けられることを
前提とした、制度・職
場環境・風土になるこ
とを要望する。特に乗
務員は、特殊な勤務形
態であるため、育児休
職復帰後に働き続ける
ことができないのか不安
に思つている人があり、
今後女性の採用数が増
加するにつれてそのよ
うな事例も多くなると
思われる。また、客室
乗務員の働き方につ
いても、妊娠・出産を難
く不安を感じている方
もいる。有期雇用では

契約社員は1年毎に
更新しては、これらに
関する制度も整つてき
ていく。しかし、どの
ような制度を活用でき
るのか周知ができてい
ない。組合からも周知
をお願ひする。
日新寮の入浴時間に
ついては、これまで何
度もお願ひしているが、
未だ改善されていない。
引き続き、入浴時間の
延長や24時間利用可能
なシャワーの設置を求
めていただきたい。



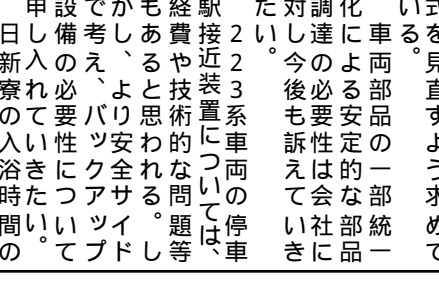
純ベア1,000円
を掲げているが、10年
以上ベアなしである。
今年度は新たな支援策
等により経常利益が20
億円程度と予想されて
いるが、来年には本四
料金の値下げが予想さ
れ、鉄道運輸収入が多
大な影響が出ると思わ
れる。

は、是非今回の春闘
に勝ち取つていただき
たい。
分會には、レクレ
ーションや社員のみに
加すればいいと考へて
いる組合員もいる。本
部・支部が協力し、分
會組合員に対し、労働
組合の必要正等の教育
が必要であるとする。
マリノライナーで使
用しているJR西日本
が所有する車両は、岡
山・児島駅間でGPS
トレインナビを使用し
停車駅等を乗務員に知
らせている。この装置
があれば停車駅通過事
故への防止に繋がる
と思われることから、
JR四国管内においても
導入をお願いする。



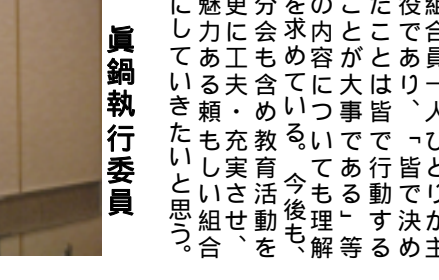
嶋田副委員長
今春闘は、ベア要求
1,000円を掲げ、
総合生活改善闘争とし
て、制度改善も求めて
いく。
検修業務の問題点に
ついては、本部として
も、検修は「安全の要
と認識しており、今後
具体的な問題点を抽出
したいと考へている。
地上運賃収受型ワン
マン運輸は、経営協議
会等で会社と議論を続
けていく。会社は悪い
部分を改善しながら試
行を続けていきたいと
考へては、以前からIT
Vとホームセンサーに
よる安全対策等ができ

ないのであれば運輸方
式を見直すよう求めて
いる。
車両部品の一部統一
化による安定的な部品
調達のためには会社に
対し今後も訴えていき
たい。
2・3系車両の停車
駅接近装置については、
経費や技術的な問題等
もあると思われる。し
かし、より安全サイド
で考へ、バックアップ
設備の必要性について
申し入れていきたい。
日新寮の入浴時間の
関係は、改善するよう
に会社と議論を進めて
いく。



大谷執行委員
本部としても教育活
動の必要性、重要性は
認識しており、これま
でも年代別、階層別研
修等々を実施し、フレ
キシブルな研修シ
ステムの組合員には、
「参加することが大事」
というのを理解して
もらい、組合の持つ機
能や役割、必要性等の
初歩的な内容の研修を
開催している。また、
分會役員レベルの研修
では、組合活動は役員
だけが取り組むもので

は、JR四国労組
組合員一人ひとりが主
役であり、「皆で決め
たことは皆で行動する
」ことが大事である。等
のメッセージを、今後
対し今後も訴えていき
たい。今後も、
分會も含め教育活動を
更に工夫・充実させ、
魅力ある頼もしい組合
にしていきたいと思つ



女性組合員比率が非
常に低いJR四国労組
ではあるが、男女平等
の参画に向けた取り組み
の必要性は認識してお
り、「男女平等参画推
進委員会」や「レディ
スミューティング」を開
催し、女性組合員の意
見を聞いたうえで会社
との交渉に臨んでいる。
近年、女性社員の採用
が多くなつていくが、
先日の経営協議会にお
いて、社員として採用
した以上、定年まで雇
用を守る仕組みの必要
性を訴えたところであ
る。また、有期雇用で
ある客室乗務員等契約
社員についても、妊娠・
出産等女性特有の条件
に配慮した制度の必要
性を訴えている。

中西委員
連合香川では、県等
への制度・政策要求に
あたり、3つの研究グ
ループを作つており、
その中に交通政策グル
ープがある。JR連合は、
このグループにメンバ



女性組合員比率が非
常に低いJR四国労組
ではあるが、男女平等
の参画に向けた取り組み
の必要性は認識してお
り、「男女平等参画推
進委員会」や「レディ
スミューティング」を開
催し、女性組合員の意
見を聞いたうえで会社
との交渉に臨んでいる。
近年、女性社員の採用
が多くなつていくが、
先日の経営協議会にお
いて、社員として採用
した以上、定年まで雇
用を守る仕組みの必要
性を訴えたところであ
る。また、有期雇用で
ある客室乗務員等契約
社員についても、妊娠・
出産等女性特有の条件
に配慮した制度の必要
性を訴えている。



として入っていないが、オプ加盟状態である国労が入っている。どのような経緯なのか。昨年の衆議院選挙において、民主党は政権与党でなくなつたため、今後さらに地域連合等との関わりが重要になってくると考へる。

連合香川の話ではあるが、香川県協会の対応ではなく、四国全体を統括する立場である四国労組本部がメンバーに入るなどの対応をお願いしたい。また、地域連合や地方自治体等地方レベルの政策活動に関する情報提供もお願いする。

春闘について、JR東海などとJR四国を同一レベルに並べ、統一要求1,000円を掲げることに疑問を感じる。JR連合はこれまで統一要求にこだわってきたが、この25年でJR各社間の格差が広がっていると感じている。したがって、会社間格差がある中で統一要求を掲げるよりも、会社の状況に見合った額を要求する2段階要求があつてしかるべきだと考へる。統一要求にこだわらざる理由を教えていただきたい。

佐藤委員

(青年女性会議)

昨年4月に、国労四国も新入社員に対する加入行動を実施したが、今年も実施することが想定される。加入行動を行うことで私たちが混乱させるのであれば、対組織として考え方を変えなければ



いけないのではないかと考へる。青年女性会議は、今年も全員加入に向け取り組みを強化するとともに、配属後の各支部、各分会においても新入社員へのフォローをしっかりと行つていきたいと考へている。

山本委員

(青年女性会議)



青年女性組合員はベアアップを経験したことなく、ベアアップといふ言葉自体知らない若い組合員もいる。一度でいいので経験してみたいのが本音である。先日、コンビニ大手が子育て世代である20代から40代の年収をアップさせるとの報道があつたが、JR四国においても、子育てに携わる世代の賃金改善を切に願っている。会社の体力等を考慮すれば厳しい交渉が想定されるが、労働時間の短縮等の労働条件の改善面では強気の交渉をお願いする。これからのJR四国を担う青年女性組合員が交渉委員として団体交渉に参加することを提案した

弓立委員

(青年女性会議)



JR四国の規程等にある津波浸水予想区域は東日本大震災前に定めていたものであると考へ、避難場所の見直しもしていないのが現状である。また、牟岐線については列車無線が整備されておらず、乗務員との連絡は列車車づつになる。南海地震発生時に、徳島県南部への津波の到達予想は3分5分程度と予想されており、連絡を待つて逃げ遅れた列車の乗務員やお客さまの命にかかわる事態が懸念される。会社に対して、早急な対応を訴えていただきたい。

新たな支援策が実施されたが、依然として経営環境は厳しく、今後さらなる効率化や経費削減が実施されることも想定される。それらが安全を担保せず行き過ぎたものにならないよう組合としてしっかりとチェックしていただきたい。また、社員に対する異常時訓練や教育にもきちんとしていく必要がある。会社に訴えていただきたい。

嶋田副委員長

連合香川の政策メンバー

連合香川の政策メンバーに関する理由は、執行部側として参加しているからである。また、過去にも県や市など自治体への交通政策要求行動や、各種委員会にも参加している。今後、地方レベ

ルの政策要求内容の情報提供についても検討していきたい。

統一ベアの根拠については、仮に2段階要求とするならば、果たしてJR四国労組はいくらの要求が妥当なのかを考えたときに、非常に難しい問題である。さらに、契約社員の時給はいくら求めたのかを決めなければならぬ。また、グループ労組の要求根拠も必要となる。そういった観点からも統一要求が必要だと考へている。以前、2段階要求をJR連合の中で発言したこともあるが、現在はJR連合として統一要求することで取り組んでいる。

子育て世代の年収をアップさせる企業があるとの報道があつたが、JR四国労組の考えとしては、全ての世代の賃金引き上げを求めていきたいと考へている。ある世代に特化した要求をするのではなく、全組合員一丸となつて、賃金面、労働条件面の改善を取り組みたいと考へている。

団体交渉委員は、現在本部役員と各支部委員長が担当しているが、例えば、30歳で支部委員長となれば交渉委員となる。防災、減災対策について会社は、自衛隊が作成するハザードマップを基に指針を作成するとしており、現在担当部署で作成中である。本部としても対策が遅いと感じており、会社には早急に指針を出すように訴えていきたいと考へている。

異常時の連絡体制については、今春から乗務員が業務用携帯電話を携帯することで、迅速性及び実効性の向上が図れることとなる。当初は通話のみを予定しているところだが、事故速報メールなどの機能も付加して、安全安定輸送の確保に向けてより有効的な活用を

するよう求めている。新たな支援策を受けるための経営自立計画や平成24年度を初年度とする中期経営計画を策定しているが、組合としても経営協議会等を通じて意見を述べるとして積極的に取り組んでいる。異常時に対する訓練や教育の必要性は本部としても認識しており、会社に対して定期的に訓練等を実施するよう訴えている。

浅岡書記長
昨年の国労四国による新入社員に対する勧誘行動は、国労四国独自の考へによるものなのか、中央からの指示によるものなのか不明であるが、将来のある新入社員に対して、定年まで責任を持つてないような組織が行つた本当に無責任な行動である。JR四国労組は、定年まで組合員に対し責任を持つ覚悟で加入行動をやっている。今年も国労四国による勧誘行動が想定されるが、JR四国労組本部としても新入社員全員加入に向けた取り組みを強化していく。

石村委員
(本社支部)
四国の鉄道の抜本的高速化については、四国に新幹線を求める決議が出された一方で、並行在来線問題があることから否定的な意見も出ている。高速化が実施される前の段階で並行在来線問題を言つてしまえば、鉄道の



高速化等が実施されないまま、四国の鉄道はどんどん廃れていくだけだと考へる。したがって、四国の鉄道を守るためにも高速化が必要であるといふ統一した主張が必要だと考へる。昨年の衆議院選挙において、自民党政権となり、組合からの声が中央政府に届きにくくなつたが、組合としても引き続き鉄道の高速化の必要性を訴える必要がある。今後、鉄道高速化に對し、どのようなスタンスで取り組むのが教えていただきたい。

森安委員
(工務部会)
今年1月に安全についての新春セミナーを開催していただいたが、非常に効果があつたと感じている。今後、組合行事として御巣鷹山への慰霊登山や福知山線脱線事故現場への献花に参加するなど、命の尊さや安全意識の更なる高揚に努めることを提案する。

北川委員
(青年女性会議)
せつかく育てた人材が離職するのは、会社と組合双方にとって大きな損失である。手当や業務量といった課題等により、JRで働くことに対する魅力が低下していること、現れではないかと考へられる。明るく働きがいのある職場づくりのため、若年層の賃金や勤務地・業務分担といった労働条件や職場環境の改善に向けた取り組みについて教えていただきたい。

嶋田副委員長
本部としても、安全意識の更なる高揚は必要だと認識している。昨年、福知山線脱線事故現場への献花に参加したが、改めて命の尊さや安全運行の重要性を肌身で感じるものであり、安全意識の

向上に繋がるものと認識している。しかし、組合行事として計画していくには経費等多くの問題もあることから、今後の検討課題とさせていただきます。

大谷執行委員
安全セミナーを1月に開催したが非常に好評であった。今後も、更なる安全意識高揚が図れる研修等を企画したい。

吉地委員
(愛媛支部)
労務西日本は、今年1月に開催した第6回定期大会において組合規約の改正により、組合員の範囲を拡大し、JR四国も対象となつたとの情報がある。詳細な情報があれば教えていただきたい。

眞鍋執行委員
高速鉄道の導入については、本部としても、ローカル線も含めた四国の鉄道を守るためにも高速鉄道の導入は必要であると考へている。平成26年度以降に本四高速料金金が全国共通の水準になれば、鉄道運輸収入はさらに減少することが想定され、

現在の路線の維持もできなくなる恐れがある。このまま何もしなければ、座して死を待つこととなる。そうならないためには、収益の柱としての鉄道の高速化は必要である。今後開催予定の全分会長会議等において、問題の共有化を図りたいと考へている。

田中委員
(営業部会)
安全・安定輸送を完遂

安全・安定輸送を完遂

安全・安定輸送を完遂

安全・安定輸送を完遂

安全・安定輸送を完遂

安全・安定輸送を完遂

安全・安定輸送を完遂

安全・安定輸送を完遂

安全・安定輸送を完遂



の開催については、今後検討課題としたい。

浅岡書記長
総括答弁



する観点から、適正な休養をとるため、鳴門駅業務員宿所の個室化をお願いする。

旅客傷害事故を防止する観点から、特急列車停車のホーム高上げをお願いする。

新春セミナーにおいて安全を取り上げていただいたが、このような安全セミナーを全組合員に対して開催することを提案する。

浅岡書記長
動労西日本の組織拡大行動は今に始まったことではなく、2年前から運動所前でピラ配布をするなど活動している。運動所前でのピラ配布に対し、会社の管理者が、敷地内への立ち入りは禁止である旨の忠告を行ったところ、動労西日本のホームページには、「ピラ配布行動に対し、激励の言葉を受けた。」と虚偽の掲載がされた。このような事実もあることから、JR四国労組の組合員は動労西日本のピラ配布等に関わりを持たないようにしてほしい。

嶋田副委員長
乗務員宿所の個室化や特急停車のホーム高上げの必要性はこれまでも継続して訴えてきている。費用の問題等から全てを一度に実施することは困難であるが、今後引き続き会社に訴えていきたいと考えている。安全に関するセミナー

さらに、自公政権は「アベノミクス」により、デフレ経済から脱却を目指し経済政策を断行しているが、インフレとなり物価が上昇したままでは、ますます可処分所得は減少してしまつていくことになる。我々は、連合・JR連合方針を踏まえ、本委員会でも議論した、定期昇給の確保を絶対条件として、引き続き「目標賃金への到達」を目指しベラスアップの獲得に取り組む。

具体的には、JR連合統一要求、純ペーパー1,000円を平均賃上げ方式で要求することとする。また、エキスパート社員および契約社員については「月額基本賃金の3%、時間給額30円」の引き上げを要求していくこととする。併せて、労働時間短縮、制度改善等についても、本日の意見等も踏まえ、要求することとし、「総合生活改善闘争」として、本委員会終了後、JR連合四国地協及び各県協等で春闘討論集會を開催し、全組合員総掛かり

「今後の本四高速料金の基本本四高速において、将来の本四高速の料金は、全国共通の水準とすることを基本としたうえで、平成26年度より導入することを目指す」としている。私達は、この施策によって競争する鉄道やフェリー等の公共交通機関への影響が甚大であると考えている。

また、一昨年、三島特例・承継特例については5年間の延長、軽油引取税については3年間の延長を実現することができた。しかし、あくまで時限立法であり、今後のJR四国の将来像を見据え、現行支援策の恒久化や新たな経営支援システム

「安全・安定・安心輸送の確立」の確保は、鉄道事業者・バス事業者にとつて最大の使命であるとともに、輸送業に従事する者にとつては最重要課題であり、経営基盤の確立に向けて不可欠との認識のもと、今日まで労使を挙げて取り組んできた。しかし、残念ながら、昨年の9月29日に走行中の特急列車から脱出した車両部品が、車両の窓ガラスを突き破り、お客様に怪我を負わせるという、一歩間違えば人命を奪う、安全を確保する上で看過できない事故が発生した。事故は労使の責任である。安全は企業風土と言えるように、労働組合は安全についてチェック機能を果たすと共に、問題提起は組合から、その対策は会社でキチンと講じていく関係を今後も確立させていかなければならない。

「安全・安定・安心輸送の確立」の確保は、鉄道事業者・バス事業者にとつて最大の使命であるとともに、輸送業に従事する者にとつては最重要課題であり、経営基盤の確立に向けて不可欠との認識のもと、今日まで労使を挙げて取り組んできた。しかし、残念ながら、昨年の9月29日に走行中の特急列車から脱出した車両部品が、車両の窓ガラスを突き破り、お客様に怪我を負わせるという、一歩間違えば人命を奪う、安全を確保する上で看過できない事故が発生した。事故は労使の責任である。安全は企業風土と言えるように、労働組合は安全についてチェック機能を果たすと共に、問題提起は組合から、その対策は会社でキチンと講じていく関係を今後も確立させていかなければならない。

JR連合 四国地協定期委員会 2013春闘討論集會開催

JR四国労組及び各グループ労組の春闘方針を確立

JR連合四国地方協議会は2月16日、高松市「義山荘」において、第21回定期委員会及び2013春闘討論集會を開催し、新年度の運動方針及び役員体制を決定した。

冒頭、中濱議長は、「グループ各社を取り巻く状況は、厳しい状況である。しかし、安

の創造へと運動を広げるためにも、JR連合との連携をさらに強化し、交通基本法の早期制定を含めた政策課題の実現に向け、議論を深めタイムリーな取り組みを図っていく。

参議院選挙の取組み
昨年未実施された第46回衆議院選挙では、民主党は歴史的惨敗を喫し、民主党政権は3年3カ月の短命に終わった。民主党に対しては、党の立て直しを早急に図り、国民の信頼を取り戻すための取り組みを積み重ねていく事を望む。しかし、民主党政治の全てが悪かったのだから、長引くデフレ経済を作ったのは、どの政党だったのか、働いても報われないワーキングプアと呼ばれる低所得者層を増大させたのはどの政党であったのか、規制緩和に邁進する自公

また、一昨年、三島特例・承継特例については5年間の延長、軽油引取税については3年間の延長を実現することができた。しかし、あくまで時限立法であり、今後のJR四国の将来像を見据え、現行支援策の恒久化や新たな経営支援システム

「安全・安定・安心輸送の確立」の確保は、鉄道事業者・バス事業者にとつて最大の使命であるとともに、輸送業に従事する者にとつては最重要課題であり、経営基盤の確立に向けて不可欠との認識のもと、今日まで労使を挙げて取り組んできた。しかし、残念ながら、昨年の9月29日に走行中の特急列車から脱出した車両部品が、車両の窓ガラスを突き破り、お客様に怪我を負わせるという、一歩間違えば人命を奪う、安全を確保する上で看過できない事故が発生した。事故は労使の責任である。安全は企業風土と言えるように、労働組合は安全についてチェック機能を果たすと共に、問題提起は組合から、その対策は会社でキチンと講じていく関係を今後も確立させていかなければならない。

「安全・安定・安心輸送の確立」の確保は、鉄道事業者・バス事業者にとつて最大の使命であるとともに、輸送業に従事する者にとつては最重要課題であり、経営基盤の確立に向けて不可欠との認識のもと、今日まで労使を挙げて取り組んできた。しかし、残念ながら、昨年の9月29日に走行中の特急列車から脱出した車両部品が、車両の窓ガラスを突き破り、お客様に怪我を負わせるという、一歩間違えば人命を奪う、安全を確保する上で看過できない事故が発生した。事故は労使の責任である。安全は企業風土と言えるように、労働組合は安全についてチェック機能を果たすと共に、問題提起は組合から、その対策は会社でキチンと講じていく関係を今後も確立させていかなければならない。

全の確立、政策課題の実現に向け奮闘し、会社の経営基盤を支えているのは、我々組合員である。JR連合の一員として統一要求を行い、組合員のしあわせを実現に向け総掛かりで取り組んでいく」と決意を述べ、「地方協議会に結集する仲間の団結・強化を図り更なるジェイアール四国ホテル開発労組の代表者など約50名が参加し、JR連合の中原政治部長から、「2013春季生活闘争を取り巻く情

また、定期委員会終了後開催された春闘討論集會では、JR四国労組組合員のほか、ジェイアール四国メンテナンス労組、四国キヨスク労組、高松駅弁労組、ジェイアール四国ホテル開発労組の代表者など約50名が参加し、JR連合の中原政治部長から、「2013春季生活闘争を取り巻く情



勢及びJR連合方針について提起があった。その後、事務局より四国地協の取り組み方針が提起され、討論の後満場一致で採択された。最後に、中濱議長が閉会を告げた。

政府に対する健全な対抗勢力として、民主党は役割を果たしていかなくてはならない。四国の鉄道を考える国会議員連絡会で御尽力をいただいているが、併せて全国比例推薦のさだみつ克之候補の当選に向けて、全組合員一丸となった運動を展開して頂く事を要請する。



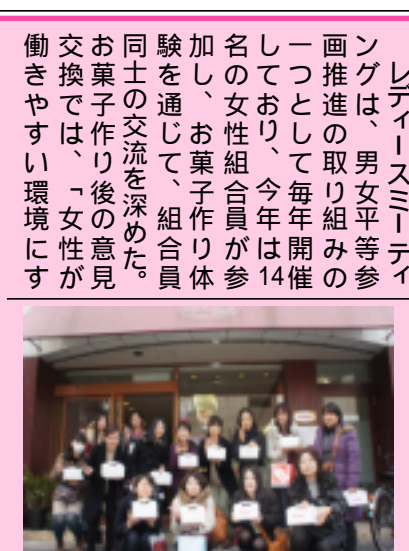
政府に対する健全な対抗勢力として、民主党は役割を果たしていかなくてはならない。四国の鉄道を考える国会議員連絡会で御尽力をいただいているが、併せて全国比例推薦のさだみつ克之候補の当選に向けて、全組合員一丸となった運動を展開して頂く事を要請する。

「JR連合第25回中央委員会開催」
2013春闘方針をはじめ、当面の活動方針を満場一致で決定

JR連合は2月1日、豊橋市「ホテルアソシ」において、「第25回中央委員会」を開催した。中央委員会には、加盟単組から中央委員、特別中央委員、傍聴者など約200名が参加し、「結成20年の歩みと成果を糧に、政策制度、組織課題を解決し、安全で社会に信頼されるJRを築こう」とのスローガンの下、安全の確立、13春闘勝利、民主化完了と組織の強化、政策実現、参議院選挙勝利などを柱とする当面の活動方針について満場一致で決定した。

JR連合は2月1日、豊橋市「ホテルアソシ」において、「第25回中央委員会」を開催した。中央委員会には、加盟単組から中央委員、特別中央委員、傍聴者など約200名が参加し、「結成20年の歩みと成果を糧に、政策制度、組織課題を解決し、安全で社会に信頼されるJRを築こう」とのスローガンの下、安全の確立、13春闘勝利、民主化完了と組織の強化、政策実現、参議院選挙勝利などを柱とする当面の活動方針について満場一致で決定した。

第18回レディースミーティング開催
本部青年女性会議は2月23日、高松市において、第18回レディースミーティングを開催した。レディースミーティングは、男女平等参画推進の取り組みの一つとして毎年開催しており、今年も14名の女性組合員が参加し、お菓子作り体験を通じて、組合員同士の交流を深めた。お菓子作り後の意見交換では、「女性が働きやすい環境にするには？」という議題でグループディスカッションを行い、活発な意見交換が行われた。



嶋田副委員長が発言し、「日々の安全安定輸送を最前線で支え、JR四国の責任組合として収入の確保や、各種経費削減及び効率化への協力をしていく組合員に対して、JR連合7単組及びグループ82単組が一丸となって挑む」と決意を述べ、「春闘の重要性や、その意義をしっかり議論し、意思統一を図り、四国もJR連合産別統一要求に沿って精一杯取り組んでいきたい。営業赤字を経営安定基金運用益で補填して、何とか地域交通を守っている四国は、国の施策やその時々外部環境の変化に大きく左右

される非常に経営基盤の脆弱な会社である。今後、将来的に安定した経営を継続するためには、四国の都市間輸送の抜本的高速化が必要と考えるし、実施されたら間違いなく収入が激減するであろうJR四国にとって喫緊の課題である平成26年問題等に対し、その適切な支援措置についても昨年立ち上げた政策PTと併せてJR連合の強いリーダーシップを発揮して頂きたい」と述べ、討論に参加した

される非常に経営基盤の脆弱な会社である。今後、将来的に安定した経営を継続するためには、四国の都市間輸送の抜本的高速化が必要と考えるし、実施されたら間違いなく収入が激減するであろうJR四国にとって喫緊の課題である平成26年問題等に対し、その適切な支援措置についても昨年立ち上げた政策PTと併せてJR連合の強いリーダーシップを発揮して頂きたい」と述べ、討論に参加した



される非常に経営基盤の脆弱な会社である。今後、将来的に安定した経営を継続するためには、四国の都市間輸送の抜本的高速化が必要と考えるし、実施されたら間違いなく収入が激減するであろうJR四国にとって喫緊の課題である平成26年問題等に対し、その適切な支援措置についても昨年立ち上げた政策PTと併せてJR連合の強いリーダーシップを発揮して頂きたい」と述べ、討論に参加した